



フィリップスジャパン  
Incisive CT (64列)

## 新しいX線CTが入ります!!

2023年3月にオランダから最新X線CT装置がやってきます。AI技術、心臓専用プログラムなど、最先端技術が搭載された高性能装置です。また、画像解析装置も設置され、多彩な解析や画像処理を行い、今までは分かりづらかった病変などの検出や計測を行います。

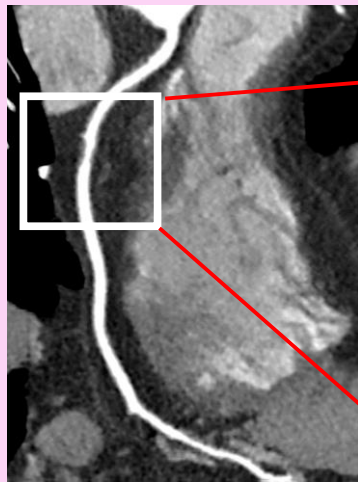


fujifilm  
SYNAPS VINCENT

### 心臓画像

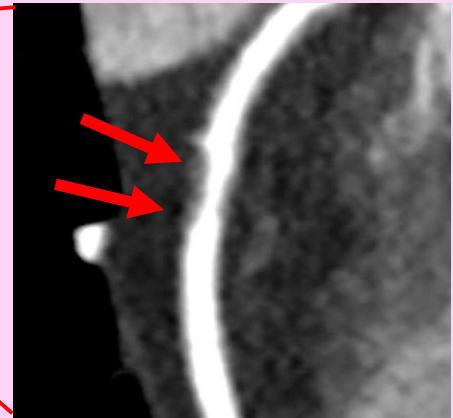


心臓3D(立体)画像



#### 冠動脈の部分狭窄

(心筋梗塞などの原因になります)



今までできなかった心臓CT検査です。専用プログラムを搭載しており、とても簡単に撮影できるようになっています。遠くの病院までいなくても当院で撮影できますので、是非ご利用ください

### オミクロン株対応2価ワクチン

#### 学生(12歳以上)専用時間のご案内

11月より学生専用時間を新たに開設いたしました。

<対象者>

- ◇1・2回目接種が完了している学生(12歳以上)
- ※前回接種から3か月以上間隔が空いている方です

<学生専用日>

- ◇11月16日(水) ◇11月30日(水)
- ◇12月14日(水) ◇12月28日(水)

<受付・接種開始時間>

- ◇受付 15:30~16:00
- ◇接種開始時間 16:00~

※事前予約制となっております。

予約受付時間:月~金(平日) 14:00~16:30

### 今月のひとさら~肌寒い日の一品~

管理栄養士:上田 麻耶

朝晩が肌寒い季節になってきましたね。今回は、夏に採れたじゃが芋、人参、とうもろこしを使って、「ポットパイ」を作ってみました。じゃが芋のビタミンCはでんぷんに守られているため、加熱で壊れにくいです。ビタミンCには抗酸化作用があり、心臓血管疾患の予防に効果があります。



#### ポットパイ

- 材料(4人前)
- ・シチューの素 4人分
  - ・牛乳 150ml
  - ・水 750ml
  - ・じゃが芋 2個
  - ・人参 1/2本
  - ・とうもろこし 1/2本
  - ・豚肉 100g
  - ・パイシート 2枚程度

<作り方>

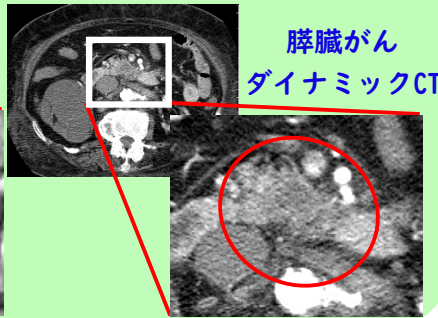
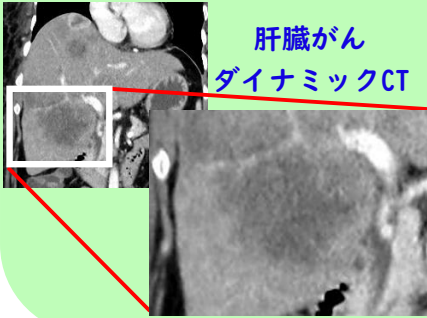
- ①シチューを作ります。じゃが芋、人参は1cm角に切る。とうもろこしは包丁で芯からそぎ落とす。豚肉は2cmの長さ切る。
- ②①を水で煮込み、火が通ったら、シチューの素・牛乳を加える。
- ③シチューを耐熱皿4つに盛り付ける。そこに、皿より一回り大きく切ったパイシートを乗せ、200℃のオーブンで20分焼いたら完成☆



## 腹部ダイナミックCT

機械制御による造影剤注入で、通常のCTでは見えないような”がん”などの病変をわかりやすく描出します。

沈黙の臓器と言われていた肝臓や膵臓の病変早期発見をサポート！



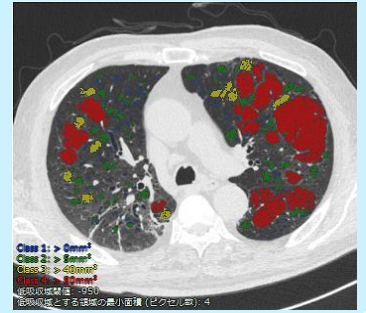
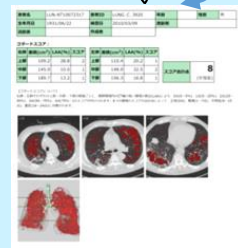
## COPD解析

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の解析です。該当部位を自動抽出し、レポートに出力します。

COPDが進行すると、酸素が取り込みづらくなり、息切れや咳・痰などの症状が出ます。

色の着いている所は肺の状態が良くない

レポート提出



## 肺結節検出機能



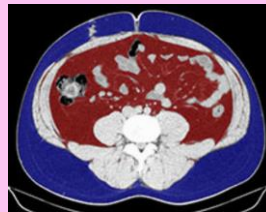
肺結節(肺がん等)を自動で検出します。

分かりにくい場所にある物もAIを使用して、検出するので見落としが少なくなります。

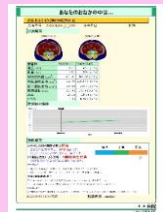
## 腹部解析

皮下脂肪、内臓脂肪、骨格筋領域を自動で抽出し、面積や体積の評価を行います。

結果レポートを生活習慣病のリスク評価や、サルコペニア、フレイル等の評価に利用します。



レポート提出



## 3D(立体)画像



頸動脈3D(立体)画像

立体的に見ることで左内頸動脈の途絶がととてもわかりやすい！  
頸動脈が閉塞すると脳血流が阻害されたり、脳梗塞のリスクが高まります。

## 今月は私が担当いたしました！！

皆さんこんにちは。放射線科の安田です。  
今回、都市部の大病院に入るような最新CT装置の導入が決定しました。  
昨今の世界事情により、予定より遅めの3月ごろ稼働予定となってしまいましたが、今までできなかった多種多様な検査が行えるようになるのでとても楽しみです！  
僕らが皆さんの健康をサポートさせていただきますので、ぜひぜひご利用ください！  
たくさんのご来院をお待ちしております。



担当：看護部

## 【2022-2023年シーズン、インフルエンザが流行するといわれています!!!】

南半球にあるオーストラリアでは、2022年4月後半からインフルエンザ患者の報告数が例年を超える患者数となっており、季節が反対になる北半球(日本など)でも流行する可能性が大きいといわれています。日本は今、新型コロナへの警戒が弱まり、海外からの入国を緩和しているため、国内にインフルエンザウイルスが持ち込まれる頻度も高くなるため、注意が必要です！

今年はA香港型(入院や死亡が増加するといわれている型)の流行が予想されています。

当院でもワクチン接種を行っています!心配な方は流行前のワクチン接種をおすすめします。



## 豆知識